

短時間で活用していただけるよう作成しています。学校の状況に応じて参考例としてご活用ください。推奨学年を示していますが、学校・クラス・地域の実態に合わせて柔軟に活用してください。

学習例 新型コロナウイルス感染症に伴う人権について考えよう 「誹謗中傷 STOP！」

三島市立山田小学校 令和2年9月4日(金曜日) 第3時 5年生 道徳科の授業をもとにして、人権教育の手引きの「学習例」として掲載しています。

推奨学年 小学生（高学年）、中学生、高校生

ねらい

- ・どのような言動が差別になるのかを理解する（新聞記事等を活用する）。
- ・差別的言動の問題点に気づきいじめや差別をなくす（引き起こさない）行動について考える。
- ・新型コロナウイルス感染症について理解する。

留意点

- ・当事者や濃厚接触者、関係者が家族にいる場合は特に、児童生徒への配慮を行う。

進め方

（○ 教師の働きかけ ・ 予想される児童生徒の反応）

| 流れ | 展開と内容 |
|-----|---|
| 導入 | ○ 他県で起きている中傷の記事を紹介する。 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な家族が感染した場合の生活の変化について考えてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・家の中を除菌する。 ・学校を休むことになり、家にずっといることになる。 出かけられない。 ・自分もかかってしまうかもしれないので不安になる。 ・まわりの人からどう思われるのか…怖い。 <li style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○ 新型コロナウイルスに感染した友達が、治って登校し、「遊ぼう」と言ったときの自分の対応を考え、話し合ってみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達が治ってないかもしれないから遊びたくない。 ・みんなが遊ばないのなら遊びたくない。 ・治っているのだから遊びたい。 ・友達は好きだけど、近づかない方がよいかな。 ○ 新型コロナウイルスについて理解しよう（日本赤十字社の資料を提示する）。 ○ 静岡県教育長のメッセージを読んでみよう。 ○ 静岡県作成「静岡県新型コロナウイルスに係るSTOP!誹謗中傷」を視聴しよう。 |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○ 新型コロナウイルスに感染した友達が、治って登校し、「遊ぼう」と言ったときの自分の対応について、もう一度考えてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いにマスクを着用して遊びたい。 ・友達の気持ちを考えて行動することが大切だと思う。 ・避けたりするのはいじめだと思う。絶対にしたくない。 ・敵はウイルスで、友達のせいではない。差別したら友達がかわいそう。 ・自分が友達だったら、やさしく接してほしいと思うから、友達にもやさしく接したい。 <p>※学校における新しい生活様式は、お互いに思いやる気持ち大切だということを児童生徒と再確認する。</p> |